

レポート

私達の税金が効率良く
使われるように!

競争入札の拡大を 県議会で訴える

今までは、「低い落札では工事の質も下がる」という行政の神話
がございました。この「安くしたら良い工事はできない」という意
識では、競争入札は行政に入れず高い買い物をし続けます。そこで、
過去の千数十の事例を調べ、「安くても良い工事は一杯あった、落
札率と工事成績は関係ない」ことをつきとめ、県議会にて訴え、県
執行部に認めてもらいました。この認識に立つてこそ、競争入札が
拡大出来、私達の税金が効率よく使われていくと考えます。

千葉県議会議員 河野俊紀



県議会にて豊富なデータを掲げて 訴える河野としのり県議

(以下 千葉県議会質疑応答より)

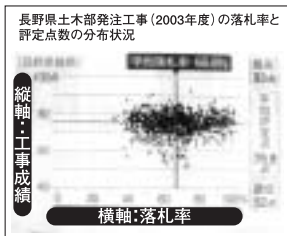
安物買いは銭失い?なのでしょうか…

河野としのり県議

新聞に、一般競争入札などで価格が下がっても品質は落ちることはない
との調査結果が掲載されました。(下図参照下さい)つまり、落札率(予
定価格に対する落札価格の割合)と工事の成績評定とは無関係であること
が判明されたのです。

一般競争入札だと落札価格が下がると
工事の品質低下を招くとは、公共事業で
はよく言われて来ましたが、しかし、競争
見積もりを常に行い、コストダウンを図
るのが当たり前の民間産業からは、安い
と質が下がるとは理解できない概念です、
それなら契約も競争も企業努力も無いと
いうことです。

私は、県発注の公共工事の一部につい
て、16年度の資料を入手し、具体的には県土整備部の設計金額500万円以上
の1,049点について、落札率と評定点数の関係について分析してみました。(グ
ラフ分布図参照下さい)表から言えるのは、落札価格が高ければ工事成績
がいい、低ければ工事成績が悪い、こういう相関関係は見られなかったと
いうことです。もし相関関係があるなら右上がりの分布になっていますが、
傾きはない。ちなみに、千葉県は平均落札率が実に97%と高い状態です。
部長、私の分析結果をどのように考えるかお聞かせ下さい。



工事成績評定と落札率の関係を
表したグラフ (2005.7.3 読売新聞掲載)



県土整備部長

河野議員ご指摘の通り、必ずしも評価点数(工事
成績)と落札率との間の相関はないというふう
に考えております。

河野としのり県議

「工事成績と落札率の関係は相関関係がない」と
いうこと、これは大事なことです。この認識があつてこそ一般競争は拡大

河野としのり県議、
過去の千数十の事例を調べ、
落札率と工事成績は関係ないことを
県執行部に認めさせます。

※注: この河野県議の質疑がなされた半年後に2億円以上となり一般競争入札は大きく拡大された。

出来るのです。この意識を末端にまで
拡大して下さい。その意味で、今の県
土整備部長の発言を私は多しします。

また一方、ある公共工事において、
例えば、特定の技術に因るとか、厳しい
納期とか、特殊な理由によって随意
契約にせざるを得ないなら、その理由等
を納税者である県民に明確に説明して
ほしい。

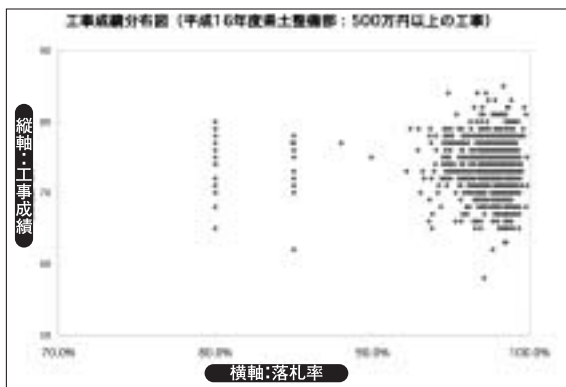


パネルを用いて県議会で
訴える河野としのり県議

行政の神話「低い落札では工事の質も落ちる」を否定! それゆえ競争を拡大し、税金を効率よく使うべしと訴える!

県土整備部長

随意契約につきましては、工事の概要、価格、随意契約の理由などを各
発注機関において公表していきます。現在、工事の内容、規模、発注に係
る事務量等を勘案し、10億円以上(※注)の工事につきまして一般競争入
札を適用して



していますが、一
般競争入
札の対象
工事の拡
大を検討
してい
きます。

▲県発注の公共工事の一部について、平成
16年度の資料を入手し、県土整備部の設
計金額500万円以上の1,049点について
の落札率と評定点数の関係について分析し
たグラフ



競争入札の拡大をして、税金を効率良く使う!!